

◇村 田 薫 君

○議長（澁谷俊二君） 最初に、12番、村田 薫君の一般質問を許可いたします。村田 薫君、登壇願います。

（12番 村田 薫君 登壇）

○12番（村田 薫君） おはようございます。

通告に従いまして一般質問を行います。

質問事項の1つ目、道の駅美郷改修についてです。

道の駅美郷の改修工事については、改修がかなり進んできているように見受けられまして、私たち町民にとってはもとより、町外の利用者にとりましても大きな関心事になっております。つきましては、幾つかお尋ねいたします。

質問の1つ目、現在は、仮店舗での営業で国道側には看板とのぼり旗が出ているものの、かなり分かりにくく、敷地内に入場しても、旧道の駅の改修風景だけが目に入ってきて、仮設店舗があるのがなかなか目に入ってこないように感じました。

年末時期でもありまして、多くの来客が見込まれます。町として改善対策があるのか伺います。

2つ目、モンベル秋田美郷店には、オープン直後と変わらず、毎日相当なお客さんが来られているようです。道の駅との相乗効果がさらに向上するような施策につきまして、町としても追加検討すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

3つ目、改修工事内容について、今後はどの施設整備においても、感染症対策が必須になると思われますが、工事内容にはそのような感染症対策が含まれているのか。もしくは、今後、変更などで対策がされるのか伺います。

4つ目は、売店、レストラン、観光案内所などのリニューアルオープンへのスケジュールについてどうなっているのか。

以上、4点につきまして見解をお伺いいたします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） おはようございます。ただいまのご質問にお答えいたします。

1点目についてですが、道の駅は、10月30日より仮設店舗で営業を行っております。

設置後、議員のおっしゃるように、認識しづらいとのご意見をいただき、敷地入り口付近と仮設店舗周辺にのぼり旗を設置したほか、工事フェンスへの案内表示や仮設店舗への電飾の設置など、視認性を高める改善策を講じ、可能な対応については実施しているところです。

今後は、現在の降雪状況を踏まえた上で、仮設店舗の視認性を低下させないように、周辺の除排雪作業を徹底するとともに、仮設店舗営業について、引き続き町ホームページやあきた美郷づくり株式会社ホームページ、道の駅美郷のインスタグラムなどのウェブサイト、SNSを通じ、積極的に情報発信してまいりたいと存じます。

ご質問の2点目ですが、道の駅美郷とモンベル秋田美郷店との連携による相乗効果を上げるためには、まずは道の駅自体に、これまで以上の魅力が必要なものと存じます。

そのため、道の駅改修工事では、これまでよりも農産物や特産品販売スペースを4割ほど拡大して商品の充実を図るとともに、田園風景を眺めながらくつろげる空間の新たな整備など、機能拡充やこれまでにない機能付与を行うこととしております。

また、曲がり屋については、穀倉地帯の美郷町だからこそお米にこだわったメニュー構成にすることとし、地域の魅力を発信できる古民家レストランとして改修するほか、屋外では外部販売スペースを拡充し、新たなにぎわい創出が可能な空間整備により、魅力向上を図ることとしております。

こうした機能拡充や機能付与により新たな魅力を創出し、相乗効果を高めてまいりたいと考えておりますので、現段階においては、当初計画した内容をもって臨んでまいりたいと考えております。

また、国土交通省の道路情報提供施設には、町内行事や観光施設、各種店舗や企業情報などを提供するデジタル・サイネージ・システムを整備し、町内周遊に向けた情報発信の仕組みも構築してまいりますので、広く相乗効果を求めてまいります。

ご質問の3点目です。新型コロナウイルス対策に関連する密閉回避対策として、建築基準法で定められた換気基準をクリアした上で、はめ殺し窓を引き違い窓に一部変更し、換気対応力を向上させるほか、隔壁や天井の撤去などで空間容量を拡大する改修を目指しており、感染症の危険性に配慮した設計内容となっておりますので、今後、その設計内容を変更する考えはありません。

また、現在の仮設店舗でも実施しておりますが、アルコール消毒の徹底や温度測定顔認証端末の設置、定期的な換気実施、レジへの透明ビニールシートの設置などは、指定管理者において今後も引き続き実施してもらうこととしており、可能な感染症対策は徹底してまいりたいと存じます。

ご質問の4点目ですが、道の駅棟の工期は令和3年3月12日、国所有の公衆トイレ・道路情報提供施設棟は令和3年2月26日までとなっております。

竣工後に、物品搬入や商品搬入するとともに、管理運営するあきた美郷づくり株式会社では社員研修を行い、4月1日のリニューアルオープンを目指しているところです。

以上です。

○議長（澁谷俊二君） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）12番、村田 薫君の再質問を許可いたします。

○12番（村田 薫君） リニューアルオープンするレストランについてお伺いしたいんですけども、座席数がかなり少ない、二十そこそこと聞いておりますが、普通、道の駅とかああいうところに行きますと、40から60ぐらいのかなりたくさんの座席数がありまして、それぞれに収益が上がっているものと思います。この二十そこそこの座席数で上がるようなメニューとございますか、高収益が得られるようなものが考えられているのかということ、もしお分かりでしたらお尋ねいたします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、自席でお願いします。

○町長（松田知己君） ただいまの再質問にお答えいたします。

議員のおっしゃる二十そこそこという数字は正確ではございませんで、正確な数字を担当課長に答弁させます。

○議長（澁谷俊二君） 商工観光交流課長。

○商工観光交流課長（藤田信晴君） ただいま、レストランの席数のことですが、まず1つ、曲がり屋レストランにつきましては、現在の曲がり屋を改築して和風レストランにするものがございます。そして、不意の繁忙期において来客が多くなった場合は、現在の道の駅で申しますと、曲がり屋と野菜の直売施設の間に通路がございますが、その部分を大改修いたしまして、フリーの座席とテーブルを置きまして、軽食も可能、それからレストランで満席になった場合、お客様がレストランメニューをそこでも注文して食事をしていただけるという環境を整えてまいります。座席数につきましては、申し訳ございませんが手元に資料がございませんので、そのような形で、繁忙期においては、十分お客様は食事ができるということを準備して、改装してございます。

以上でございます。

○議長（澁谷俊二君） 再々質問ありますか。（「ありません」の声あり）

次の質問に移ります。

○12番（村田 薫君） 質問事項の2つ目です。こども園と学校トイレの蛇口改修をということ、

今年、世界中が新型コロナウイルス感染症の災厄に見舞われ、日本でも多くの方が亡くなり、また、日々の生活様式も一変するという大変な年になりました。感染症対策の小さな一つといたしまして、水道の蛇口改修について見解をお伺いいたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止や予防には、手洗い場の蛇口も関与しているものと思われま
す。蛇口のハンドルを手で回すなどしなくてもよい非接触型の自動水栓を導入してはと思います。
手でひねって水を出すハンドル式の蛇口は、こども園、小学校、中学校では、現在何%ぐらいあ
るものか、まずはお伺いいたします。

今後、新築や改修の際には、ぜひとも手で触れなくてもよい蛇口に替えていきますよう取り組
んでもらいたいと思っております。

ただ、自動水栓型はかなり高価で、工事も複雑であると聞いておりますが、国とか何らかの補
助金などを活用して、ぜひとも対応してもらいたいところです。

次に、便器の質問です。

便器の洋式化は100%達成されているだろうと思っておりましたが、小学校と中学校では、いまだ
に和式が健在なのはなぜかと疑問に思っております。洋式を100%にすべきでは思っております
が、教育長の考えをお伺いいたします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。教育長、登壇願います。

（教育長 福田世喜君 登壇）

○教育長（福田世喜君） ただいまのご質問にお答えいたします。

はじめに、こども園及び小中学校の手洗い場の蛇口についてですが、こども園及び小中学校に
おいて、現在利用されている蛇口は、全部で692か所あります。その蛇口の形状については、自動
式が多機能型トイレでの5か所、レバー式またはプッシュ式が45か所、ハンドル式が642か所とな
っており、ハンドル式の蛇口が全体の93%を占めております。

学校の廊下などに設置している手洗い場の蛇口は、手洗いのときには蛇口の先を下向きに、水
を飲むときには上向きに変えられるようなハンドル式となっております。ハンドル式では、「ねじ
る、締める」という手の動作が必要ですが、生活の中で少ない傾向にある「ねじる、締める」を
行う機会にもなっています。一方、自動式では、蛇口の先が全て下向きになることや、レバー式
では蛇口を上向きにすると、水を止めるときに腕が濡れてしまうなど、使い方によってはそれぞ
れの方式でメリット、デメリットがあります。

また、学校は不特定多数の人々が入り出る施設ではなく、校舎に入るときに、手や指からの
感染を防ぐための手指消毒を必ず行ってもらえることができる施設です。つまり、手や指からの感

染を防ぐために蛇口を自動式にしなくても、手指消毒を徹底して行うことにより、感染防止対策ができることから、自動式の導入は考えていないところであります。

教育委員会としましては、こども園や学校の要望を踏まえながら、ハンドル式の必要性の高いところは蛇口を現状のままとし、それ以外のところは、校舎改修の際にレバー式に変更するかどうかを検討していきたいと考えております。

次に、こども園及び小中学校のトイレの洋式化についてのご質問にお答えいたします。

こども園及び小中学校において、現在使用されているトイレの便器数は263基あります。このうち、こども園は全て洋式化されておりますが、小中学校では、和式スタイルが12基あり、洋式化は93%となっております。

小中学校のトイレについては、平成30年度の小学校のトイレ改修工事を実施する際に、「和式を希望している児童もいる」などの学校からの要望を考慮して、ごく一部に和式スタイルを残したところであります。

そのような現状や、万が一の災害時などに、和式スタイルを使用しなければならないことも想定されることから、学校においては、基本は洋式スタイルですが、ごく一部に和式スタイルもあるというほうが教育的観点から好ましいと考えており、そのようなことから、トイレについては現在のままでよいと考えております。

以上になります。

○議長（澁谷俊二君） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、12番、村田 薫君の一般質問を終わります。

○議長（澁谷俊二君） 町長より発言の申出がありましたので、これを許します。町長。

○町長（松田知己君） 先ほど、村田議員に対する再質問に対しての再答弁の部分を修正させていただきたく、担当課長に改めて発言をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（澁谷俊二君） 商工観光交流課長。

○商工観光交流課長（藤田信晴君） 改めまして、先ほどの回答について、申し訳ございませんが訂正させていただきます。

レストランの席数及び収容人数でございますが、4人掛ける12テーブルがありまして48人、それから、2人がけのテーブルが5テーブルありまして10人、合わせて58人が曲がり屋レストランで収容可能となっております。また、私が申し上げました連結するフリースペースでは、4人

がけテーブルが4テーブル、16人が収容ということで、合計74人の方にお食事を提供することが可能でございます。

以上でございます。大変申し訳ございませんでした。